

# 当面の技術対策（畜産編）

令和4年8月15日

発行：ゆとりみらい21農業推進協議会指導部会

## 1. 2番草の収穫について

今年の1番草収穫（キザミ）は平年より早く終了し、2番草の草丈は順調に伸びています。

2番草の収穫時期の目安は1番草刈り取り後から50～60日です。改めて作業機のメンテナンスと堆積場所の整備を行い、収穫に備えましょう。

## 2. ロールベールの注意点について

- ① ロールベールサイレージに調製する場合は、ラップフィルムに破損が無いか点検し、ピンホール等があれば専用の粘着テープで補修する。
- ② 乾草調製している場合、乾燥が不十分なまま梱包したロールベール乾草は自然発火の恐れがあるため、ベール中心温度が30℃以下になり、異臭がないことを確認してから収納する。
- ③ 牧草の衰退を防ぐため、調製後のロールは速やかにほ場から運び出す。

## 3. 早めのサシバエ対策

サシバエの発生時期はおおよそ8月下旬～10月です。サシバエがサナギから成虫になる前に対策を行いましょう。

### ① 発生源となる場所の大掃除

幼虫～サナギの間は水分が60%程度あり養分がある場所に生息し、ふん尿や敷料、残飼が発生源となります。気温によって成長スピードは変わりますが、サシバエが多発する時期は1週間に1度、発生源を取り除いて乾燥させましょう。

- |              |          |
|--------------|----------|
| ・牛舎の壁ぎわ、柱まわり | ・スクレーパー  |
| ・給水施設のまわり    | ・バンクリーナー |
| ・ハッチ、ペンの壁際   | ・堆肥舎     |
| ・パドック        |          |

作業機で除糞しきれない、水分を含んだエリアがポイント！

### ② IGR剤の活用

堆肥舎やバンクリーナーなどの掃除が難しいエリアや農繁期で労働力を確保できない場合は、薬剤（生長制御剤）を活用してハエの発生をコントロールする方法があります。

（薬剤例：サイクラータ SG、ネポレックス等）

### ③ 牛舎周辺の除草

サシバエの成虫は牛舎周辺の草むらに生息しています。ハエの行動範囲は200～400mなので、サシバエが牛舎内に侵入できないよう牛舎周辺の除草を行いましょう。